

# 令和6年度 事業計画

---

公益社団法人松戸市シルバー人材センター

# 1. 基本方針

**目指す姿 「会員が生き生きと誇りをもって就業を続ける」  
～未来への変革2024 これからの松戸シルバーへ～**

**自主**

自分達で自主  
的に考え

**自立**

自分達ので  
作り育て

**共働**

みんなと  
一緒に働き

**共助**

共に助け合う

**会員の視点**

**利用者の視点**

**令和6年度の重点課題 『教育』**

**会員の組織運営の視点**

**社会の視点**

総務部会

事業部会

地域部会

広報部会

合同編集部会

# 目指すべき4つの視点－10の柱

1	会員の視点	1-1：新規会員の獲得
		1-2：受注件数の拡大
		1-3：退会者の抑制
		1-4：安全適正就業の推進
2	利用者の視点	2-1：ニーズに応えたサービス水準の向上
3	会員の組織運営の視点	3-1：地域班や職群班活動の活性化及び見直し
		3-2：部会等での会員の意見を事業反映させる取り組み
4	社会の視点	4-1：「見える化」の推進
		4-2：事務の効率化、経費削減の取り組み
		4-3：安定的な財務基盤の構築

# 1 会員の視点

## 1-1：新規会員の獲得

- ★女性会員の入会促進の強化
- ★入会しやすい仕組みづくり

- ・地域班の班長の活用
- ・いきいきと活動する女性会員の様子をPR
- ・入会説明会・入会プロセスの工夫・臨時入会説明会の開催

## 1-2：受注件数の拡大

- ★新たな分野の就業開拓

- ・地域班、職群班の連携による地域での受注拡大
- ・地域企業等のニーズの把握・分析 アンケート調査
- ・不定期の営業臨時職員（会員から抽出）による会社、事業へのPRと受注活動
- ・ホームページ等の充実および効果的な広報

## 1-3：退会者の抑制

- ★魅力あるセンターづくり
- ～未就業に伴う退会者の抑制～

- ・マッチングシステムの導入
- ・会員の情報の精査を行いデータベース作成
- ・就業やボランティア活動などによる仲間づくり
- ・各種施設の利用券や割引券等、協賛企業・団体の開拓による会員特典の創出

## 1-4：安全適正就業の推進

- ★安全就業の環境整備の推進～
- 熱中症対策の強化～

- ・講習、研修等による安全意識の啓発
- ・健康管理の推進（健康診断の受診奨励等）
- ・長期就業の検証と是正
- ・各職群及び駐輪場のリーダからなる「安全推進委員」が中心となり、安全講習会の実施を重ねる。

## 2 利用者の視点

### 2-1：ニーズに応えたサービス水準の向上

- ★会員の質の向上
- ★マイスター制度の実施（後継者の確保）

- ・利用者のニーズを的確に知り対応する職群班の創設
- ・就業開始時における技術・技能の向上のための研修会
- ・接遇などお客様満足度を高めるための研修などの実施
- ・特技や資格を活かした就業希望会員の募集及びスキル情報の収集
- ・一般市民を対象としたイベント・講習会の開催

## 3 会員の組織運営の視点

### 3-1：地域班や職群班活動の活性化及び見直し

- ★地域班・職群班見直し

- ・地域班と職群班が連携できるか検討する
- ・利用料金の見直し及びアップについての検討
- ・魅力ある地域班活動運営の検討
- ・職群班活動への支援

### 3-2：部会等での会員の意見を事業反映させる取り組み

- ★会員による理事会・各部会委員会等での効果的な関わり方の推進

- ・部会委員会における内容の精査
- ・部会委員会は2か月に1回程度の定期開催とし、年間計画を立て実りある会議を進める。

# 4 社会の視点

## 4-1 : 「見える化」の推進

- ★SDGsの取り組み
- ★広報活動の充実

### (1) 広報まつどやちいき新聞を活用したPR推進

\* 有料広告活用についての検討

### (2) センターのホームページ充実

- ・センターの事業がSDGsの達成の貢献していることのPR
- ・ボランティア活動やイベントへの参加を通じたセンターのPR
- ・SNSを活用した活動内容の発信

## 4-2 : 事務の効率化、経費削減の取り組み

- ★事務局体制の強化

- ・働きやすい職場環境づくり
- ・職務上必要とされる知識や技能習得のための研修の充実
- ・職員の資質向上に向けた研修会や勉強会の開催

## 4-3 : 安定的な財務基盤の構築

- ★自主財源の確保
- ★消費税のインボイス制度への対応

- ・事務費の改定
- ・国から示される契約方式の変更等についての対応
- ・デジタル化による事務の効率化及び費用削減
- ・松戸市との定期的情報交換

# 総務部会

## ① 会員募集に関すること（入会説明会・登録会）

### （１）入会登録手続きの簡素化

- \* ホームページ上の入会説明会の開始
- \* ホームページ入会説明会閲覧者の直接登録会参加開始
- \* 事務所での随時登録について検討

### （２）入会説明会時の就業情報の提供

- \* 説明会開催時点での就業情報について、具体的な内容を示せるような体制を整える
- \* 参加者がご自身の就業についてイメージを持てるように工夫

### （３）臨時入会説明会

- \* 特に会員数の不足している場所で重点的に説明会を開催したり、不足している業務に特化した入会説明会の開催をする。

### （４）入会説明会の説明内容の向上

- \* 説明資料等のレベルアップ
- \* 説明者の育成体制の整備

## ② 新入会員の研修に関すること

### （１）会員へのマナー接遇研修の実施

会員が誇りと自信を持って就業し、お客さんも満足し、更に就業の機会が広がるように取り組む。

- （２）登録会時には、健康診断受診を勧め、健康意識向上につながる講習会を市と共同作業する等、会員の健康意識向上を図る取組を進める。

# 事業部会

## ①新規就業開拓に関すること（事務局と連携を進める）

### （１）企業等へのセンター事業のPR

- \* 松戸商工会議所等と連携し、会議所会員企業への戸別訪問等を実施。名刺の作成。
- \* 企業等に、就業説明会の開催をお願いし、受講会員が請負や派遣で就業できるような仕組みの構築。合わせて、請負から派遣への切り替えも、必要に応じて発注者に提案。

### （２）企業に対するアンケート調査の実施及び企業賛助会員増加に向けた内容の検討

### （３）公共事業分野の新たな開発

- \* 市関連部署との協議の場を設ける。

### （４）居場所づくりの検討を行う。

### （５）魅力ある独自事業の拡大

自転車の再生事業は、再生する自転車確保台数の減少に伴い事業量が減少している。今後、再生事業の在り方について検討していく。また、同好会の新設等も検討する。

## ②適正就業に関すること

### （１）配分金単価の見直し

職群班の見直しをすると同時に各職群の適正配分金について検討を図る。

## ③技術・技能向上のための研修等に関すること

### （１）マイスター制度による講習会の実施

- \* 「植木剪定講習」「刈払講習」「家事援助講習」など専門性のある技能研修会を実施
- \* 企業、事業所に要請し、企業等主催の会員対象の就業研修を実施



# 地域部会

## ① 会員間の親睦交流に関すること

### (1) 地域班懇親活動の活性化

\* 懇親会等への参加者拡大方策検討

### (2) 将来的には地域拠点設置による交流の場の確保

\* 居場所づくりとして「シルバーカフェ」の取り組み検討

## ② センター事業の連携及び協力に関すること

### (1) 地域班主体で受注拡大のPRイベントの開催を行う仕組み・体制づくり

### (2) 地域班単位での臨時入会説明会の実施

\* 地域班による地域でも入会説明会の開催（職群班との連携も図る）

## ③ 単発作業班の円滑な運営に関すること

地域の受注は地域でこなす、会員の確保も地域が主体で実施するといった体制を整える。

## ④ 安全就業に関すること

(1) 安全就業委員が主体となり、地域部会で会員の安全就業の強化を図る。

# 広報部会

## ①センター事業の啓発活動に関すること

### (1) 各種イベントへの参加

\* 内容を精査し質の高いPR活動を行う。またイベント時は他部会や他会員さんを巻き込み、一丸となって進める。

\* シニア交流センター祭等のイベント時の内容の充実

\* シルバーの日の駅前通路や市役所連絡通路での広報活動

### (2) 女性向けの講習会や教室等の検討

\* 様々な活動を実施し、楽しみながらも必要とされている女性の活躍の場を増やしていく。

## ②地域社会貢献のための奉仕活動に関すること

### (1) 地域部と連携を図り、会員主体のボランティア活動の拡大

\* 花植えボランティア、認知症サポーター、地域の見守り活動等

### (2) 事業部と連携を図り、居場所づくりの検討

## ③同好会の検討

### (1) 互助会設立について検討する。

### (2) 地域部と連携を図り、会員主体のボランティア活動の拡大

\* 読み聞かせボランティア、認知症サポーター、地域の見守り活動等

### (3) 同好会活動の活性化

\* 発表の場の検討

\* 様々な優秀な技能を持った会員さんを発掘し、同好会から独自事業への検討

# 合同編集部会

## ①ホームページ等の管理運営に関すること

### (1) 更新頻度の短縮

- \* 部会にホームページ作成やパソコン技能に長けた会員を配置する等工夫する。
- \* ホームページの刷新のため、業者の選定も視野にいれて検討する。

### (2) 就業情報の掲示

- \* 今どのような依頼があるのか、会員全体が共有できるようにする。

### (3) 作業実例の掲載

## ②会報の企画・編集に関すること

- \* 就業についての体験談、単発作業との継続作業の組み合わせ就業の奨励や具体的事例、地域班や職群班の活動内容の紹介、就業先の声、同好会情報掲載等編集内容の充実を図る。また、会報配布時の店舗や事業所の広告記事掲載（会員にメリットのあるもの）なども検討。

## ③その他の媒体を利用した宣伝方法の検討

### (1) 広報まつどやちいき新聞を活用したPR推進

- \* 有料広告活用についての検討
- \* 新聞にチラシを折り込んで全市的にセンターをPRすることについて検討。
- \* タウン誌やケーブルテレビ等とのパイプを強化しタウン誌等に情報提供できるような体制整備

### (2) 必要に応じてInstagramやフェイスブック等の媒体利用の検討

# 安全適正就業員

事務局の安全適正就業管理担当職員＋各職群（植木・除草・単発）＋駐輪場のリーダー 1名により構成

## 安全適正就業の取り組みを推進する

- ①安全・適正就業対策に基づく具体的事項の実施
- ②ヘルメットの着用、作業に相応しい服装・装備の再確認
- ③草刈りや剪定の講習会への受講の呼びかけ、講習会受講の義務化
- ④健康に関する講座の開催等会員の健康管理の徹底
- ⑤全国シルバー人材センター事業協会が定めるガイドラインの周知
- ⑥請負業務に馴染まない業務の洗い出し、派遣業務への移行
- ⑦就業報告書の様式を検討し、安全就業チェック表を付けるなどの検討